



20年経って、あらためて思う。

本屋は、**偶然と意志で**
できている。

本屋さんに行くとき、私は常に何をかうかを決めたいことにしています。
ネット通販が世のあまねし新刊を入手可能にして久しくなり、
古本でさえ店舗に探しに行くよりはネットで探した方が見つかりやすい昨今、
「思わぬ出会い」は実店舗にこそ満ちているように思えます。
そして書店員の皆さんが、自らが売りたいと考える本を
POPや展開を通じて売りたいとする意志もまた、
実店舗ならではの楽しみといえます。
そのような「偶然と意志」との出会いを求めて、
私は今後も本屋さんを訪ね歩きます。

逢坂冬馬

2022年大賞「同志少女よ、敵を撃て」

全国の書店員が選んだいちばん売りたい本 本屋大賞 20th 開催中!



手帳ブランド NOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。 NOLTY®

SINCE 1949